（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ココロネクラブ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年4月1日 | ～ | 2025年3月14日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 8 | （回答者数） | 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年3月3日 | ～ | 2024年3月14日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 7 | （回答者数） | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年3月24日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 設備が新しく、こどもたちの活動スペースを確保できる環境があること | 設備以外でもパーティションやパーソナルスペースを確保し、プライバシー空間も配慮できるうように取り組んでいます。 | 安全性や事故が起こらないように十分に配慮し、常に整理整頓して環境を整備していきます。 |
| 2 | こどもの特性に合わせて専門的支援、リハビリテーションを実施できること | 機能訓練員を2名配置し、限られた時間でしっかりリハビリテーションが行えるように取り組んでいます。 | こどもたちと保護者のニーズに対応できるよう、人員確保にを行っていきます。 |
| 3 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況についてお伝えして、共通のご理解をいただけていること | 送迎時の直接のご報告や連絡帳の活用、定期的に活動報告をお配りするなどしています。 | ホームページ等オンラインを活用して個別に詳細な状況伝達やご連絡ができるような仕組みを検討していきます。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 父母の会や保護者会がなく、利用者の保護者様同士の交流や情報交換の機会を設けることが出来ていないこと | 個別支援に注力し、保護者会や交流の機会を設ける活動を実施する体制が取れていないため。 | 定期的に保護者会やご家族交流が実施できるように行事予定を組み、機会を設定するようにいたします。 |
| 2 | 他の児童支援施設やクラブや地域との交流や活動機会を設けることが出来ていないこと | 個別支援に注力し、他施設や地域との交流、連携の機会を設ける活動を実施する体制が取れていないため。 | スタッフ一同、地域の活動や交流会へ参加して、横のつながりが出来るように取組ます。 |
| 3 | 災害や感染対策などの各種マニュアル、規程等の保護者様への説明が不十分で内容をしっかりお伝えできていないこと | 保護者会や説明会の機会を設けることができず、また個別の説明の機会も設けることが出来ていなかったため。 | 定期的に保護者会や説明会が実施できるように行事予定を組み、機会を設定するようにいたします。 |

（別紙４）

# 公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | ココロネクラブ |
|---|---|

公表日　2025/3/31

利用児童数　8人　　回収数　8人

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 特になし | 継続して一人ひとりのスペースを確保していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 6 | | | 2 | 特になし | 体制が安定して維持できるように適宜、求人をかけていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 6 | | | 2 | 特になし | 今後も必要な設備を整えていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | | | 2 | 特になし | 継続して管理していきます。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 今後も年間計画を立てて、計画的に活動プログラムを立案していきます。<br>日々行ったことは連絡帳や送迎時に口頭でお伝えさせていただき、前月のプログラム内容や様子を毎月作成しお伝えいたします。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 7 | 1 | | | 特になし | 今後も支援プログラムに沿って支援を提供してまいります。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 今後も利用者様の様子や保護者の方のニーズに合わせた個別支援計画を<br>具体的に支援内容を記載し作成し<br>支援してまいります。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 8 | | | | 特になし | 今後も支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容が設定してまいります。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 個別支援計画に沿って支援を続けて、面談を通してフィードバックしてまいります。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 8 | | | | 特になし | 今後も年間計画を立てて、計画的に活動プログラムを立案していきます。<br>日々行ったことは連絡帳や送迎時に口頭でお伝えさせていただき、前月のプログラム内容や様子を毎月作成しお伝えいたします。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 3 | 2 | 1 | 病弱なこども達も多いため、交流することが良いとはいえないので。 | 今後も放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を検討いたします。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 日々の支援の内容は連絡帳のみでなく、毎月の活動報告等で伝えていき、報酬改定の説明も考えています。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | | | | 特になし | 個別支援計画の説明する時間をとり、丁寧にお伝えできるように致します。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 4 | 2 | | 2 | 特になし | 相談員は不在の為、担当支援員が保護者様が困ったときに頼ってもらえるような事業所・職員となるように研鑽してまいります。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 今後も送迎時や連絡帳での情報交換を行い、毎月の活動報告も引き続い行います。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 5 | 3 | | | 特になし | 定期的に支援や情報共有など行えるように面談の機会を設定するようにいたします。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 8 | | | | 親の都合や失敗も受け止めていただき本当に感謝しています。 | 今後も共感頂けるように支援内容をお伝えしてまいります。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 2 | 4 | 1 | 1 | 父母の会がないため、されてるともされてないともいえないため | 定期的に保護者会を開催し、情報共有など支援を行ってまいります。 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | 2 | | | 特になし | ご家族からの相談やご意見をお受けできる体制を整備し、周知、説明し、ご相談に迅速に対応できるようにいたします。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | 2 | | | 特になし | 許可をいただいた方は写真を使った活動報告等で活動の様子を伝えていけたらと思います。子ども達にも個々の状態に合わせて伝えていきます。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | 1 | | 1 | 特になし | 頻度が少なかった点もあるため、前月のプログラム内容や様子を毎月作成しお伝えいたします。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | 個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また職員一人一人個人情報を意識して取り扱いします。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 3 | 1 | | 4 | 特になし | 今後、各種マニュアルを保護者様にも分かりやすく周知できるようにしてまいります。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 2 | 1 | | 5 | 特になし | 利用者様参加の訓練を設定し、保護者の皆様にも周知、災害時に対応できるように努めてまいります。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | 4 | 2 | | 2 | 特になし | 安心してご利用頂けるよう、安全確保に十分に留意し、計画をお伝えして支援してまいります。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 5 | | 1 | 2 | 特になし | 今後も速やかにご報告し、再発防止のインシデント・アクシデントレポートの共有とカンファレンスを実施していきます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 8 | | | | 特になし | 今後も安心感をもって通所頂けるように努めます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | 1 | | | 特になし | お子様にとって楽しい場になるように、従業者一同取り組んでまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | | 特になし | ご満足頂ける支援を提供できるように努めてまいります。 |

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ココロネクラブ |
|---|---|

公表日　2025/3/24

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 未記入 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 2 | | パーティションを使用し、個別スペースを確保している。個別性に対応している。 | 車いす等の保管場所、活動スペースの確保 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 1 | | 人員配置は法令を遵守し、適切な配置をしている。 | 適切な人員配置を維持継続します。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 2 | 1 | ホワイトボード等を使用し、視覚的にもわかるように、個別性に応じた対応をしている | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 2 | | 自然が多い環境上、虫や落ち葉、砂などが、入り口や窓から侵入するため、毎日頻回な清掃を実施してる。 | 継続した取り組みを行う |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | 2 | 2 | パーティションを使用し、個別スペースを確保し、気分転換ができるようにしている。 | 同時に多数の対応が難しく、スペースの使い方を適宜検討。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 3 | | 定期的なミーティングや、日々の電子カルテやシステム付属のチャットにて、意識的に情報共有している。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 2 | 評価表によりいただいたご意見を集約し、改善点等をまとめ、HPにて公表し、改善に努めています。 | 評価内容の職員全体への共有 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 1 | 1 | 日々の業務中に、気になることなどは意見交換ができる関係性や環境となっている。定期的なミーティング、電子カルテやシステム付属のチャットにて、情報共有している。 | 意見を出しにくい職員、個別面談等により聞き取りを行う。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 5 | 2 | 第三者による評価を全く実施していない。 | 実施を検討する。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 1 | | 法人内研修会が定期的に開催されており参加しているが、研修後の情報共有ができていない。 | 研修会参加後の、情報共有をする。<br>外部研修会等に積極的な参加をする。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | | 多職種のアイデアを集約して作成している。 | 写真等を使用するなど、ビジュアルで伝わる工夫を検討している。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | | 独自のアセスメント書式を使用し、年に1回以上適宜実施し、支援計画の作成に活かしている。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | | 支援に関わる職員との意見交換を密に行い、共通理解を得るようにしている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 6 | 1 | | 個別支援計画の目標や具体的な支援方法等については、ミーティング等にて共有し、職員全員が共通認識をもち、統一した支援に取り組んでいる。 | 定期的なミーティングにて、支援計画を書面上だけではなく、情報共有を行う。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 2 | | 独自の書式を使用しており、多職種が専門性に応じて確認している。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 2 | 1 | ガイドライン及び5領域を踏まえながら、定型的な計画ではなく、個別性に応じた具体的な支援内容を設定している。 | 地域支援、地域連携は、情報交換共有を行うためにも、積極的に行う。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 2 | | 保育士を中心に他職種と連携し、立案を行っている。 | 療育以外の視点を取り入れる。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 2 | | 保育士を中心に他職種と連携し、定型的なプログラムとならないよう、意見交換を密に行い工夫している。 | 療育以外の視点を取り入れる。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 1 | 1 | 個別活動、集団活動ともに、個別性に応じた計画を作成し、支援を行っている。 | 仕組みの確立が未 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 1 | | 日々、当日の利用状況や業務内容、分担等をホワイトボード等に掲示することにより可視化を行い、多職種連携して支援を行っている。 | 仕組みの構築<br>中心的な人材がいないとできていない |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 3 | | 終了後は振り返りを行い、気になる点、新たに取り組んだ内容等を記録に残すとともに、口頭でも共有している。 | 放デイのチャット利用薄い |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 1 | | 個別のケース記録への記録を行い、全体共有が、検討等が必要な記録は、同じシステム内のチャット機能にも転記し、検証改善に取り組んでいる。 | 放デイのチャット利用薄い |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 2 | | 原則６か月毎でのモニタリングにより、本人、家族の意向等を踏まえ、見直し新たに計画の作成を行っている。 | 仕組み構築途上 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 4 | 1 | 2 | ガイドラインの４つの基本活動を基に支援計画を作成している。 | 地域交流乏しい |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 3 | | 自己選択できるように、療育の中で選択肢を設けた支援を行い、また、目線や動きなどによっても選択できる支援を取り入れている。 | 評価バッテリーやツールの充実が必要 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 1 | 1 | 相談支援事業所と関わりある児童が少ないが、関係機関との会議等あれば、積極的に参加している。 | 現場職員が参加できるよう調整が必要 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | 2 | | 適宜、学校や医療機関との連携を行っている | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | | 学校送迎時に情報共有を行い、また、保護者より情報共有いただき、適切に相互に情報共有を行っている。 | 学校送迎時以外の情報共有方法を検討 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 4 | 1 | 就学前については、保護者より情報提供いただき相互理解を深めている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | 1 | | 移行先への情報提供は、学校及び保護者を通して行っている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 2 | 4 | 1 | 現在は、連携できていない。 | 今後、連携をはかり、助言や研修の機会を設けたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 6 | | 現在は、交流等できていない。 | 今後、交流をはかり、ともに活動できる機会を設けたい。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 2 | 2 | 定期的な部会には積極的に参加し、情報交換等を行っている。 | 様々な職員が参加できるように調整したい。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | | 連絡帳や送迎時の情報共有を行い、共通理解を持っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 2 | 2 | 現在は、研修等の情報提供ができていない | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 1 | 1 | 利用契約時に、文書を基に説明をしている。<br>変更時等は、郵送にてご案内と電話による説明も行っております。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | 1 | 作成時は、保護者と面談を行い、保護者の意向の確認を尊重している。 | 限られた対象者のみにしか行えていない |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 6 | | 1 | 対面にて計画書をもとに説明を行い、同意を得ている。 | 多職種がそれぞれの分野を具体的に説明できるようにしたい。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 3 | 2 | 2 | 悩み等の相談があれば、面談や電話に対応し、内容によっては多職種と連携し対応している。 | 適切な相談機会がとれていない |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | | 本年度より年に一度、保護者会を開催しているが、保護者同士の交流する機会の提供等はできていない。 | 保護者会の開催頻度を増やし、交流する機会も設けるよう検討 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | | 契約時に、苦情の受付窓口を設置していることを説明している。<br>苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応できるように努めています。 | 忘れ物等のダブルチェック |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | | 毎月お便りを作成し、また併設事業所の機関誌も定期的に発行しており、連絡帳に挟んで活動内容等をお伝えしている。 | 不定期ではあるがHP上では発信しているが、今後はSNS等を活用した発信を検討している。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | | 契約時に、個人情報や肖像権の取り扱いについて説明し、書面で同意書をいただいている。個人の記録等の文書は、鍵付きキャビネットにて厳重に保管している。 | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | | 予定等は事前に説明し、また視覚的にも分かりやすくするなど、個別性に応じた対応をしている。 | ツールの設備ができていない |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 5 | | 行事は、併設事業所と合同で開催しているが、地域住民を招待する等はできていない。 | 行事の規模を少しずつ拡大し、地域住民にも開かれた事業所となれるよう検討している。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | 2 | | 各マニュアルは作成しているが、訓練ができていない状況。<br>特に、保護者には周知できていない。 | 定期的に訓練を実施し、 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | 1 | 1 | 業務継続計画は策定している。<br>非常災害時の訓練は実施できていない。 | 机上訓練のみとなっているため、今後、想定訓練を検討している。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | | 契約時等の初回ご利用時までに、各職種より確認している。<br>情報がわかるように個別カードを作成している。 | 定期的な確認、見直しが行っていく。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 1 | | 契約時等の初回ご利用時までに、各職種より確認している。<br>情報がわかるように個別カードを作成している。 | 定期的な確認、見直しが行っていく。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 1 | 2 | 併設事業所と合同での訓練を行っている。 | 今後、合同訓練ではなく事業所だけの訓練を検討 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 4 | 2 | 1 | 取組内容について、広く周知できていない。 | 周知機会ない |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | | 法人統一の書式があり、ヒヤリハットや事故等があれば迅速に報告、作成、再発防止の検討を行っている。 | 口頭での全体周知の機会少ない |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | | 定期的な虐待防止研修を行い、また、委員会では毎月振り返りを行い、適切な対応となっているか確認している。 | ない |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | | 委員会にて適宜検討し、組織的に決定している。 | 併設事業所を判断基準の統一ができておらず、統一できるよう調整中 |